

天彗龍はなに思いなに
をみる

【紅魔】ラルア@黒き悪魔

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

古龍バルファルクが自由気ままに旅をする

そんな話です

稀に戦闘描写があるかも？

おもに進めているのがあるので投稿はかなり少なく不定期です

目次

第1章 飛竜種

第1話 「始まりの日」

—

1

第1章飛竜種

第1話「始まりの日」

第1話「始まりの日」

私はバルファルク古龍だ、二つ名は紅い彗星（シヤア思いうかべたる）

住処は高い『天界』だ

ふと思ったことがある

「他のモンスター達はどこでどんな生活してるのかな？つと…」

ということではバルファルクは旅をすることにした

他の奴らがどんなのかしりたくなってきたしな

そのうえ私という存在を知らしめたい（クス）

（補足だが弱めの奴らは出てこないぞ）

（そして基本大型モンスだ）

（リクがあれば気分次第でいくかもだがな）

(本編につながってる?)

バル「で…雑談相手があんたかい…ディア…」

ディア「気にしたら負けですといううか僕の他にも会いに行くのでしょうか?」

バル「てかなんで私を見て驚かない…」

ディア「毎日上空通ってるの知ってますから」

バル「ダニイ!?!」

ディア「驚きすぎです…」

バル「だつてえ…だつてえ…」

ディア「まあ…まあ…」(女性のあつかいは難しい…)

ディア「でなんで最初僕にしたんですか?」

バル「気分()」

ディア「BA☆KA☆GE☆TE☆RU☆ZE」

バル「ひどくない?」

ディア「ひどいもくそもないですはい」(無慈悲)

バル「(・ω・)」

ディア「まあ…そのそれはおいといて…」

バル「うん…」

ディア「さて：話題が思いつかないですどうしましょう…」
おいてディアメタいぞ

バル「じゃあ私とディアの紹介でよくない？」
悲報作者スルーされるこんな感じ←

では簡単なプロフィールをどうぞ：

バル「私からだな…」

バルファル

性別：女

種族：古龍種

天彗龍 別名紅き彗星

属性：龍属性

性格：明るい

今まで：引きこもっていて外をよく知らない

好きな食べ物：龍属性、お肉

嫌いな食べ物：その他の属性、野菜

好きなモンスター：分かんない

嫌いなモンスター：分かんない

次はディア

ディアブロス

性別：男

種族：飛竜種

角竜

属性：無属性

性格：荒いようなしっかり者

今まで：砂漠で主に暮らしていた

好きな食べ物：サボテン

嫌いな食べ物：ほとんどなし

好きなモンスター：どこにでも連れつけてくれるセルレギオス

嫌いなモンスター：食事の邪魔するガレオス、ドスガレオス

こんな感じですよ○

バル「好きなモンスター、嫌いなモンスターはこれからみつけるのさ」

ディア「そうですか」

バル「じゃ私はいくぜ」

ディア「よいたびを…」

バル「ありがとう」

そう言うバルファアルクは飛びどこかへ行ってしまいました